

平成31年度 看護部研修計画

教育目的
 ☆病院・看護部の理念に基づき、地域に根ざした質の高い看護を提供できる看護師を育成する。
 ☆看護師個々が目標を持ち、事故課題を認識し取り組むことができる。

教育目標
 ☆地域看護、高齢者看護の知識・技術の向上を図る。
 ☆エビデンスに基づいた看護を実践できる能力を養う。
 ☆主体的に学習でき、学習意欲を持つことができる。
 ☆専門職業人として自覚を持ち、ひとりひとりが責任ある行動をとることができる。

	対象者	研修	目的	目標	研修名
	ステップ1	新人			
卒業研修（ラダー別）	ステップ2～3	卒2	看護過程を用いて個別的看護展開ができる 看護過程の振り返りから今後の目標を持つことができる	<ul style="list-style-type: none"> 受け持ち患者の全体像から問題点をあげ、計画立案、実施、評価の過程を実践できる。 看護理論を理解し、ケースレポートをまとめることができる 	①導入 ②リフレクション1回目 ③リフレクション2回目
		リーダー	看護チームでリーダーシップが発揮できる	<ul style="list-style-type: none"> リーダーとしての役割を知り、リーダーとしての自覚を持つことができる チームカアップのカギをつかむことができる カンファレンス運営の手順を理解することができる 	①導入 ②リフレクション ③発表会
		そろプリ	プリセプターとして基本的技術と態度の役割モデルについて学び、今後活かすことができる	<ul style="list-style-type: none"> プリセプターの目的と役割が理解できる コミュニケーションとリフレクションについて学ぶ 	前期 後期
		次年度プリ	プリセプターの役割とサポート体制について理解する 新人教育計画と指導・評価ツールの使い方を理解する	<ul style="list-style-type: none"> プリセプターシップ・プリセプターの役割がわかる プリセプターのサポート体制が分かり不安感・負担感が最小限になる 	
		プリセプター	プリセプターシップが理解でき、役割が遂行できる	<ul style="list-style-type: none"> プリセプターの役割がわかる・指導用ツールを活用し指導ができる プリセプター活動の現状を把握し、改善策を検討し、次年度に引き継ぐことができる 	
		研究計画書	看護研究の一連の過程を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 研究的視点を持って問題に取り組む 文献検索等を学び、研究計画書が作成できる 	①導入 ② ③
		ミニレクチャー	頻度の少ない技術を自ら学び、レクチャーすることで身につけることができる メンバー間のコミュニケーションを深める場となる	<ul style="list-style-type: none"> 経験頻度が少ない技術をシミュレーションすることで自信を持つことができる スタッフにレクチャーし、意見交換できる 	CV挿入介助 トロッカー挿入 挿管介助
ステップ4	スキルⅢ	経験を活かし看護師として役割モデルとなることことができる	自分自身を知り、役割を見出すことができる		
	看護補助者	看護補助者	患者の身の回りの世話が指示のもとできる 看護チームの一員としての認識を持ち行動できる	<ul style="list-style-type: none"> 安全安楽を守る方法がわかる ・患者サービス、接遇を学ぶ 看護助手としての業務内容、範囲がわかる 高齢者や家族の理解ができる 	
全体	全員	臨床指導	学生指導へと不安軽減と指導ツールを理解する	<ul style="list-style-type: none"> 臨床指導における指導者の役割がわかる 学生への理解を深めることができる 	学生指導
		救急	緊急時、安全、正確、迅速に判断し行動できる	シミュレーションすることで、緊急時の対応に自信を持つことができる	シミュレーション
		看護倫理	看護倫理について理解する	<ul style="list-style-type: none"> 日常の中での倫理問題に気づくことができる 倫理問題を話し合い、自己を振り返ることができる 	